

ストップ・リニア!訴訟第8回シンポ

中央新幹線： 限界技術のリスク



(産経新聞)

地上設置のガイドウェイの安全性、耐久性、 高速リニアの走行の側壁への振動・風圧は?

講演:

武蔵野大学工学部教授

阿部修治氏



<阿部修治氏>

東京大学卒。産業技術総合研究所でナノテクノロジーなどを研究。武蔵野大学工学部教授。リニア新幹線の電力消費や安全性に警鐘を鳴らしている。

主催：ストップ・リニア!訴訟原告団、
リニア新幹線沿線住民ネットワーク
問合せ：橋本良仁 080-6545-8784
資料代：500円

2月8日(金)

午後4時30分～6時15分

衆議院第二議員会館多目的ホール

1973年(昭和48年)新幹線基本計画で中央新幹線決定から45年、リニア山梨実験線開始から20年、リニアはいまだに建設に取り掛かった段階で、JR東海が予定している品川・名古屋間の開業も大幅に遅れるものと見られている。

品川・名古屋間286kmにガイドウェイを敷きまくり、時速500キロで疾走するリニアは安全なのか、そして千人の乗客を守るための安全や保守技術は万全なのか?

